

# 世界高配当株式ファンド(資産成長型)

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第17期(決算日2025年11月18日)

作成対象期間(2024年11月19日～2025年11月18日)

第17期末(2025年11月18日)	
基準価額	57,846円
純資産総額	1,443百万円
第17期	
騰落率	17.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### お知らせ

当ファンドは、2025年2月19日付でファンド名称を「日興・CS世界高配当株式ファンド(資産成長型)」から「世界高配当株式ファンド(資産成長型)」に変更いたしました。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株式ファンド(資産成長型)」は、2025年11月18日に第17期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;452750&gt;

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

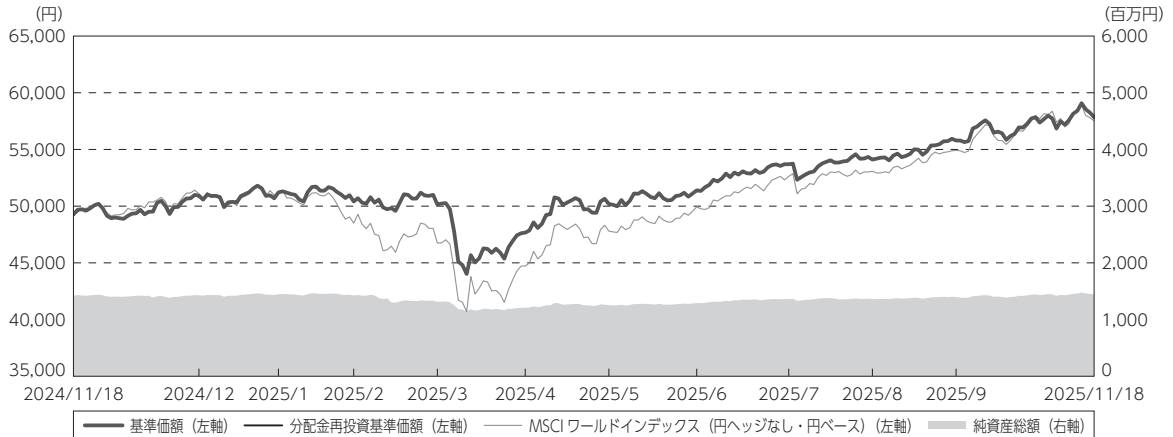
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年11月19日～2025年11月18日)



期首：49,261円

期末：57,846円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：17.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス(円ヘッジなし・円ベース)は、期首(2024年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCIワールドインデックス(円ヘッジなし・円ベース)は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・ AI（人工知能）への需要拡大や成長期待などから、ハイテク関連銘柄の上昇が相場全体の押し上げにつながったこと。
- ・ 企業の自社株買いなどの株主還元の動き。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・ 中東情勢の緊張の高まりなどの地政学的リスクが重しとなったこと。
- ・ 米国政府機関の一部閉鎖が長期化し、同国経済への影響や懸念が広がったこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	628 (337) (257) ( 34)	1.210 (0.649) (0.495) (0.066)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	23 ( 23)	0.044 (0.044)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	40 ( 40)	0.077 (0.077)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 等 ) ( そ の 他 )	47 ( 17) ( 2) ( 27) ( 1)	0.091 (0.032) (0.004) (0.053) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	738	1.422	
期中の平均基準価額は、51,870円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

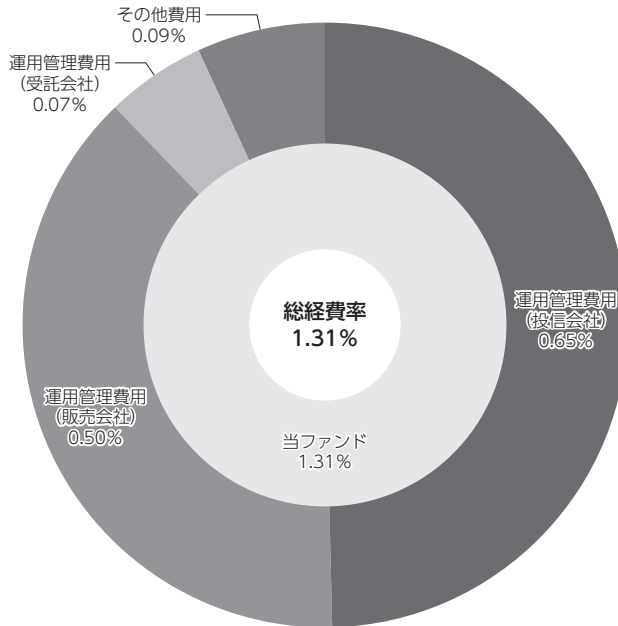
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

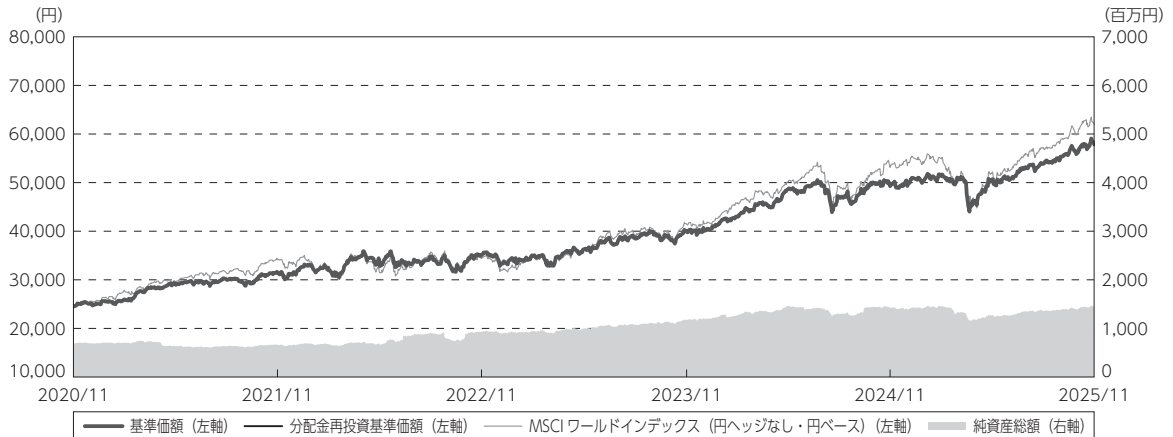
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年11月18日～2025年11月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、2020年11月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年11月18日 決算日	2021年11月18日 決算日	2022年11月18日 決算日	2023年11月20日 決算日	2024年11月18日 決算日	2025年11月18日 決算日
基準価額 (円)	24,704	31,444	35,130	40,059	49,261	57,846
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	20	20	20	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	27.4	11.8	14.1	23.0	17.4
MSCIワールドインデックス (円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	38.1	0.8	20.8	27.9	16.8
純資産総額 (百万円)	698	662	928	1,179	1,419	1,443

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。  
 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2024年11月19日～2025年11月18日)

## (株式市況)

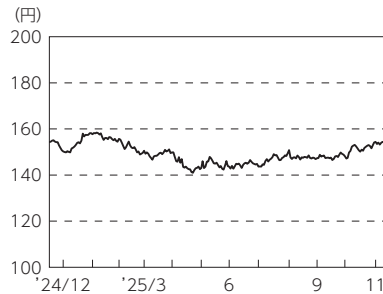
当期間を通じて見ると先進国株式市場は上昇しました。

期間の序盤から中盤は、不安定な中東情勢などの地政学的リスクが重しとなった一方で、米国を中心とした底堅い景気動向と企業業績に加え、主要国（除く日本）の金融緩和の流れなどが下支えとなるなど、株価は底堅い動きとなりました。しかし2025年2月後半以降は、トランプ米政権の関税政策をめぐる不透明感の高まりと、当該政策による世界経済および企業業績の悪化懸念や、米中貿易摩擦の激化への警戒感などが投資家心理の悪化につながったため、株価は軟調に推移しました。ただしその後は、トランプ米政権が関税政策に対する姿勢を軟化させるとの期待感などから、株価は徐々に持ち直しました。また夏場にかけては、米国が日本や欧州連合（E U）と通商協定で合意に達し、関税政策に対する過度な懸念が後退する中で、株価は概ね上昇基調で推移しました。また、A Iの成長期待を背景とした関連銘柄の上昇や、米国連邦準備制度理事会（F R B）による利下げへの期待も株価の上昇を後押ししました。期間の終盤、これまでのハイテク関連銘柄の急速な上昇に対して一服感が出る場面が見られたものの、長期化が懸念されていた米国政府の一部閉鎖が解除されたほか、米欧の底堅い企業業績などが下支えとなり、株価は概ね良好に推移しました。

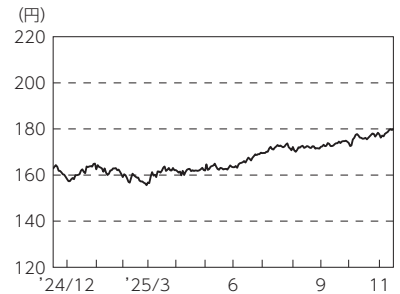
## (為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2024年11月19日～2025年11月18日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (世界高配当株式マザーファンド)

当ファンドでは、配当利回り水準に加え、収益性や財務の健全性、企業規模、各種のE S G（環境・社会・ガバナンス）の特性など、配当余力の高さの裏付けとなるファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の分析を踏まえて、組入銘柄の入替えを実施しました。

その結果として、セクターで見ると、情報技術、金融セクターなどを組入上位とする一方、不動産、素材セクターなどについては組入比率を抑えることとしました。

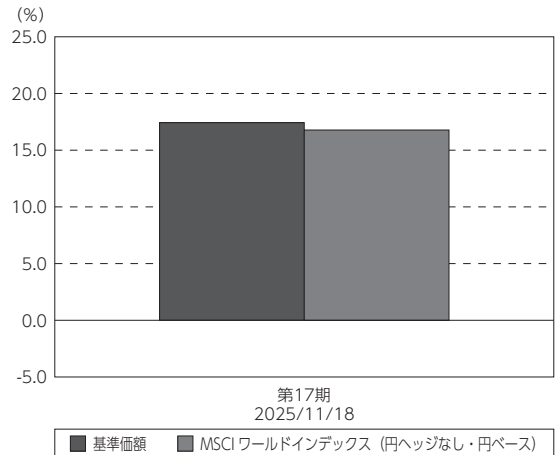
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年11月19日～2025年11月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI ワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

(2024年11月19日～2025年11月18日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2024年11月19日～ 2025年11月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	47,846

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (世界高配当株式マザーファンド)

当ファンドは、世界各国の配当利回りの高い企業の株式を中心に、収益性や財務面の裏付けを伴う、配当余力が高いと考えられる企業の株式に分散投資を行なうことで、安定的な配当収入を得ながら信託財産の成長をめざします。株式ポートフォリオの構築に当たっては、各銘柄毎の配当利回り水準に加え、収益性や財務の健全性、企業規模、各種のESG特性など、配当余力の高さの裏付けとなるファンダメンタルズの分析に基づき、銘柄選定を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

### 約款変更について

2024年11月19日から2025年11月18日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、投資対象マザーファンドにおける運用委託先の統合に伴ない、2025年2月19日付けにてこの信託の名称を「日興・CS世界高配当株式ファンド（資産成長型）」から「世界高配当株式ファンド（資産成長型）」へ変更いたしました。（信託の名称）

当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第56条の2）

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」から「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」に変更いたしました。（第56条）

### <運用報告書の電子交付に関するご案内>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正（施行：2025年4月）が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

### その他の変更について

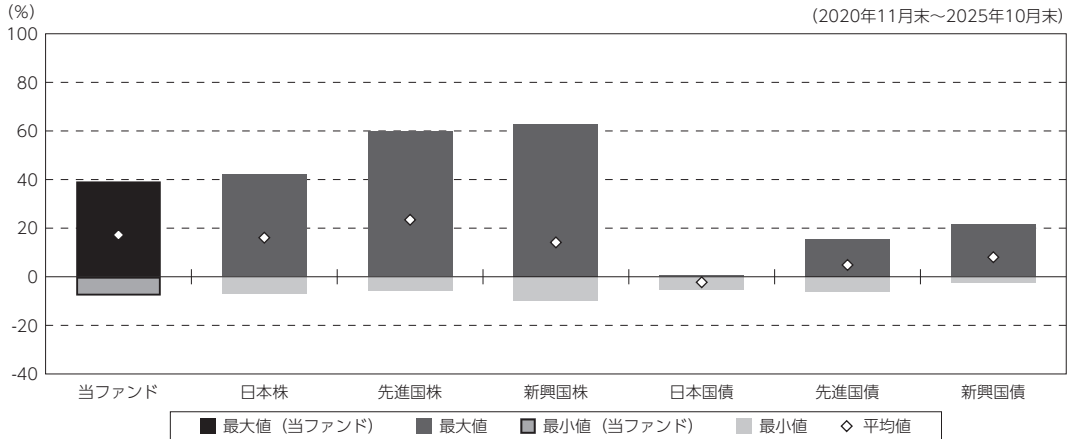
当ファンドについて、投資対象マザーファンドにおける運用委託先の統合の影響により、2025年4月1日以降、運用手法がボトムアップ・アプローチからクオンツ・アプローチへ変更となり、100銘柄程度に均等配分で投資を行なっております。なお、当ファンドの信託報酬の総額に変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年11月12日から2049年11月18日までです。	
運用方針	主として「世界高配当株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	世界高配当株式ファンド（資産成長型）	「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界高配当株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	世界各国の配当利回りの高い企業の株式を中心に、同時に配当余力の高い企業の株式に分散投資を行なうことで、安定的な配当収入を得ながら信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の配当利回り水準、株式益回り水準などの配当余力に加えて、各国市況動向や、各銘柄毎のファンダメンタル、割安性、流動性などの分析も行ない投資を行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	39.2	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 7.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	17.2	16.1	23.4	14.1	△ 2.3	4.8	8.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCIワールドインデックス (円ヘッジなし・円ベース)

[MSCIワールドインデックス] は、[MSCI Inc.] が発表している、世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の (円ヘッジなし・円ベース) とは、現地通貨ベースの指数を円換算したものです。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモウヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年11月18日現在)

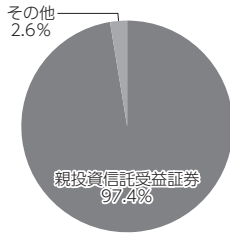
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
世界高配当株式マザーファンド	97.4%
組入銘柄数	1銘柄

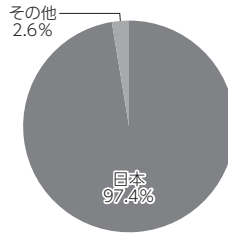
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

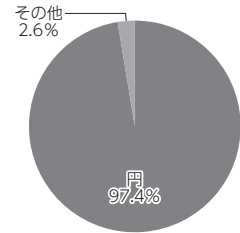
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

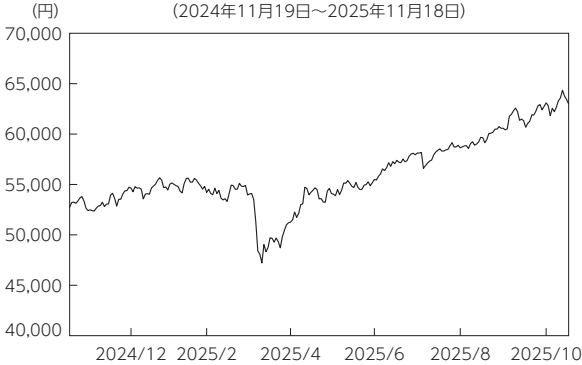
項目	第17期末
	2025年11月18日
純資産総額	1,443,167,107円
受益権総口数	249,482,654口
1万口当たり基準価額	57,846円

(注) 期中における追加設定元本額は36,406,190円、同解約元本額は75,074,146円です。

組入上位ファンドの概要

世界高配当株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月19日～2025年11月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	26 (26)	0.046 (0.046)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	45 (45)	0.081 (0.081)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	20 (19) (1)	0.035 (0.033) (0.002)
合計	91	0.162

期中の平均基準価額は、55,961円です。  
 (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

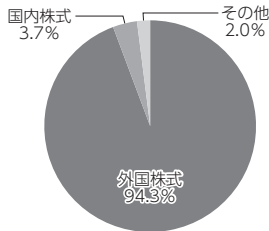
【組入上位10銘柄】

(2025年11月18日現在)

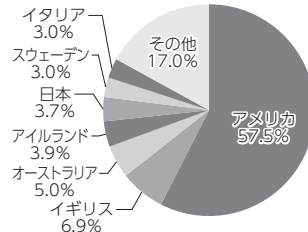
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	1.1
2 WH GROUP LTD	食品・飲料・タバコ	香港ドル	ケイマン諸島	1.1
3 MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.1
4 ABBVIE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.1
5 GILEAD SCIENCES INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.1
6 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.1
7 RIO TINTO PLC	素材	イギリスポンド	イギリス	1.1
8 EXELON CORP	公益事業	アメリカドル	アメリカ	1.1
9 SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	電気通信サービス	シンガポールドル	シンガポール	1.1
10 MERCEDES-BENZ GROUP AG	自動車・自動車部品	ユーロ	ドイツ	1.1
組入銘柄数		100銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

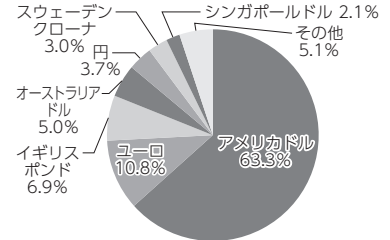
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。